

倉敷芸術科学大学で学ぶこと

—教育の目標と方針—

(29 生対象)

「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」は、倉敷芸術科学大学の建学の理念を実現するために、各学部、学科で定められた教育の目標と方針をまとめたものです。新入生のみなさんは、これらの目標と方針に沿って、倉敷芸術科学大学の学生として必要とされる知力、人間力等の能力を身につけ、最終的な目標である卒業に向けて4年間学習を進めていきます。「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」を読むことで、みなさんがどのような人材になることができるかがわかります。

みなさんの学習を充実させるために、次のように活用してください。

- 1) 入学時に自分の所属している学部・学科の目標と方針を読んで、各自の体系的な学習設計をしましょう。
- 2) 「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」を定期的に取り返し、卒業に向けての学習がどれくらい進んでいるかを各自でチェックしましょう。必要に応じて各自の学習設計を見直しましょう。

「カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表」の見方

各授業科目がディプロマポリシーにどの程度関連しているかを表にまとめたものです。

「カリキュラム・ツリー」の見方

カリキュラムの進行をフローチャートで示したもので、各授業科目相互の関連性と授業の展開が描かれています。ディプロマポリシーを達成するには、どの授業をどの順序に履修すればよいのかがわかります。

●学校法人加計学園 建学の理念

ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し

技術者として 社会人として 社会に貢献できる人材を養成する

●学校法人加計学園 ミッションステートメント

加計学園は、全ての人が生涯にわたって学べる「教育の場」を提供し、教育を通して科学する心を育み、調和のとれた人格と国際性を涵養することによって、世界の平和に貢献できる人材を輩出する。

●倉敷芸術科学大学 ミッション

知性と感性を兼ね備えた創造力豊かな人材の育成

●倉敷芸術科学大学 教育の理念

大学の目的

本学は、教育基本法及び学校教育法の本旨に則り、芸術と科学に関する学術を深く教育研究し、創造性豊かな人材を養成して、社会の発展に寄与することを目的とする。

学部ごとの教育研究上の目的および人材の養成に関する目的

学部	教育研究上の目的および人材養成の目的
芸術学部	優れた創造性と深い専門領域の知識や技能を身につけながら人間性を培い、それぞれの感性と教養を通して各種の産業、行政、教育機関等の場で活躍できる人材を養成する。
生命科学部	生命科学は生命を取り巻く諸関連科学の総称であるが、生命に関する幅広い教養的知識を身につけ、生命科学の専門的知識・技能を生かして、社会のかかえている問題解決に貢献できる人材を養成する。

学科ごとの教育目標

学部	学科	教育目標
芸術学部	メディア映像学科	新しいメディア環境に対応した芸術表現の創造と産業の関わりに向けて、幅広い知識と専門領域の技術を身につけて、積極的に社会参加できる人材の養成を目標とする。
	デザイン芸術学科	デザイン、美術、工芸の諸領域を幅広く融合した総合的な芸術教育研究を行うことを目的とする。個別の領域の専門家であるだけでなく、総合的な見地から社会、産業、生活のニーズに対して新たな価値を創出できる人材の養成を目標とする。
生命科学部	生命科学科	生命化学、食品科学、環境科学、水産科学および医用工学の各分野で生命を支える生命科学を教育し、持続的な社会形成に貢献できる人材の養成を目標とする。
	健康科学科	保健科学や運動科学の面から人間の健康をとらえることができ、人間を取り巻く環境との関わりの中で21世紀の健康生活に貢献できる人材の養成を目標とする。
	動物生命科学科	急速に変化しつつある現代社会に新たな視野をもって対応し、動物と人間の関わりを領域を中心に、より良い社会環境、生活環境の構築のために働くことのできる人材の養成を目標とする。
	生命医科学科	癌診断のスペシャリストである細胞検査士や臨床検査技師、さらには疾患治療基盤の確立を志向する医療人の養成を目標とする。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

全学

建学の理念のもとでミッションに掲げる「知性と感性を兼ね備えた創造力豊かな人材」を輩出するため、所属学部学科に所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学修目標に到達した学生に学位を授与します。

（学修目標）

- ・五感を刺激する学びによって、感性豊かな表現力や創造的思考力を身につける
- ・他者と協調・協働しながら、地域の課題や専攻分野のテーマを題材に実践力を磨く
- ・自立した社会人として活躍するための専門的知識や技能を深め、究める

芸術学部

芸術学部では、芸術における幅広い知識と専門領域の技能と表現力を身につけ、知性と感性を活かし、広く社会で活躍できると認める学生に学位を授与します。

メディア映像学科

メディア映像学科では、これからの社会を担う人材として、独創的なメディアコンテンツを創造する人材の養成に加えて、メディア技術やコンテンツビジネスを理解し、広く社会で活躍できるように、以下の能力を身につけることとします。

- ・専門分野における幅広い知識による企画力
- ・専門分野における幅広い制作力と技術力
- ・専門分野における独創的な表現力
- ・地域や社会に関する諸課題を、専門的知識を活かし解決することができる思考力
- ・他者と協調・協働でき、自らの意見を的確に表明できるコミュニケーション能力

デザイン芸術学科

デザイン芸術学科では、デザイン、美術・工芸等の造形活動を通して率直で独創的な自己表現作品を創造する人材の養成に加えて、表現力や知識を活用し、広く社会で活躍できるように、以下の能力を身につけることとします。

- ・専門分野における幅広い知識を得て創作や企画に活かす能力
- ・専門分野における幅広い創作に関する技術力
- ・専門分野における独創的な表現力
- ・地域や社会に関する諸課題について、知性と感性を活かして問題解決する能力
- ・他者と協調・協働でき、自らの意見を的確に表明できるコミュニケーション能力

生命科学部

教養科目及び各学科の専攻科目を通して身につけた知識や技術、思考力や表現力、豊かな感性をもって、生命科学のそれぞれの専門分野で役割を果たせる学生に学位を授与します。

具体的には、以下の能力を身につけることとします。

- ・生命科学に関する専門的知識と技術を持ち、社会人として責任を果たせる能力
- ・自身の考えを表現できる一方で、他者の意見を受け入れ、他者と協力して行動のできる能力
- ・現代社会の問題を生命科学の立場から解決することができる思考力や行動力

生命科学科

生命科学科では、科学の論理性と芸術の感性を併せ持ち、生物学、化学の技術者・研究者として、専門的知識を活用できる人材の養成を目指します。

生命科学を基礎とした生命現象と物質との関わりについての教育と研究を行い、以下の能力を身につけることとします。

- ・生物学や化学の基礎知識を持ち、専門的知識を活用できる能力

- ・水産学、食品科学、香粧学、環境化学などの専門分野、及びその複合領域の専門科目を縦断的に学び、その知識を複合的に応用し問題を解決する能力
- ・これらの分野の専門的知識を活用し、持続可能な社会の構築に貢献できる能力

健康科学科

健康科学科では、幅広い教養教育で身につけた感性、表現力、思考力を基礎として、スポーツ、健康、運動指導、救急医療の各分野の専門的知識を活かし社会に貢献できる知識と技能を身につけた人材の養成を目指します。

具体的には以下の能力を身につけることとします。

- ・健康増進、競技力向上、スポーツ障害の予防について適切なケアができる能力
- ・障害、傷病などにより救援を要する人に対して現場で適切なケアを行い医療機関と連携して救助が行える能力
- ・学校教育において児童生徒の心身の健やかな成長と発育に、スポーツ、運動、栄養の面から教育できる能力
- ・現代社会の健康問題について、スポーツ、健康科学、運動指導、救急医療の各分野の立場から解決することができる能力
- ・健康科学に関する知識・技能を基礎として、他者との協働の中で協調性、積極性を発揮し、社会の向上に寄与できる能力

動物生命科学科

動物生命科学科では、愛玩動物看護師、実験動物技術者を中心とした「人と動物の関わりの領域」で、身につけた知識・技能、高い倫理観をもとに、自ら問題を発見し、問題を解決し、さらに自分の考えを的確に人に伝えることができる人材の養成を目指しています。

そのために教育目標に掲げた「専門的なコミュニケーション能力」「観察・治療対象の状態についてのアセスメント能力」「判断力」「創造力」「実践力」「自己研鑽能力」を学修成果とし、以下の能力を身につけることとします。

- ・生命の尊厳や人権尊重をふまえた高い倫理観を身につけ、動物や飼い主に寄り添うことができる能力
- ・動物の健康と生育環境について科学的根拠に基づき判断することができる能力
- ・動物看護実践に必要な専門的なコミュニケーション能力
- ・動物看護実践の場において、適切なアセスメントに基づいて看護を創造し実践することができる能力
- ・協働するチーム内でリーダーシップを発揮し、その発展に貢献できる能力
- ・社会の変化に適切に対応できる動物看護を創造し実践するために必要な専門的知識を身につけ研鑽しつづける能力

生命医科学科

生命医科学科では、アート思考とサイエンス思考を備え、臨床検査の基礎知識・技術（臨床検査力）を修得し、社会・医療現場でのコミュニケーション力、自分で考える力、発生した問題を紐解ける問題解決力を身につけた人材の養成を目指します。

具体的には、以下の能力を身につけることとします。

- ・見て感じてイメージできるアートの能力と、観察し検証・考察できるサイエンス的能力
- ・臨床検査の知識・技術で正確に物質の濃度や生体情報を検出できる能力
- ・社会人、医療人として社会、医療現場に適応できるコミュニケーション能力
- ・目の前の現象を理解し、次への行動ができる能力
- ・人に優しく丁寧に話せる能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

芸術学部

芸術学部では、芸術における幅広い知識と専門領域の技能、独創的な表現力を身につけるため、領域を横断して学ぶ制作を中心とした実践的なカリキュラムを編成しています。

メディア映像学科

メディア映像学科では、多岐にわたるメディアを理解し活用できる能力を身につけるため、コミックイラスト、CGアニメ、マンガ、ゲーム・Webデザイン、動画の分野を幅広く学び、その中で専門性を高めていくカリキュラムを編成しています。専門的な学修の集大成として卒業研究を必修科目とし、修得した専門分野の知識と技術を活用して制作に取り組み探求力と独創性を磨きます。

デザイン芸術学科

デザイン芸術学科では、デザイン、美術・工芸全般の歴史と理論及び立体・平面の基礎造形を広く学びながら、プレゼンテーション力を身につけ各自の専門性を見極めて、実践力や表現力を高めてゆくカリキュラムを編成しています。専門的な学修の集大成として卒業研究を必修科目とし、修得した専門分野の知識と技術を活用して制作に取り組み探求力と独創性を磨きます。

生命科学部

生命科学部では、「知性と感性を兼ね備えた創造力豊かな人材」を育成するため、教養科目において、幅広い知識、思考力や表現力を身につけ、豊かな感性を育むとともに、専攻科目を系統的に学び、社会に貢献するための専門性を磨きます。

4年間のカリキュラムにおいて、実践的な実験・実習、フィールドワーク、PBL(Project Based Learning)を通して、チームで行動する力や問題解決力、マネジメント力を身につけます。

生命科学科

生命科学科では、生物学と化学の知識を総合的に身につけながら、問題を提起しそれを解決できる能力を高めていくカリキュラムを編成しています。専門的な学修の集大成として卒業研究を必修科目とし、修得した専門的知識と技術を活用して研究に取り組み探求力と独創性を磨きます。

健康科学科

健康科学科では、人体の構造、健康、栄養、運動に関する領域を広く学び、それぞれが専門として目指す3つの分野である、健康運動、救急医療、アスレティックトレーナーの専門的知識と技術を修得できるカリキュラムを編成しています。これらの専門的スキルを社会で実現できる能力を身につけるため、現場実習とインターンシップ関連科目を配置し、また、研究倫理と専門領域の問題発見・解決能力を身につけるため卒業研究を必修科目として配置しています。

動物生命科学科

動物生命科学科では、生命の尊厳に関係する倫理や法規、動物の適性飼養管理に関する知識・技能を基礎として、科学的根拠に基づいた質の高い愛玩動物看護師・実験動物技術者としての能力を高めることができるカリキュラムを編成しています。4年間の学修の総まとめとしての卒業研究や臨床実習での実践を通して、「考える力」「伝える力」「問題を発見・解決する力」を磨きます。

生命医科学科

生命医科学科では、医療の仕組み、臨床検査の種類、臨床検査技師の業務・役割り・医療倫理を広く学びながら、各種臨床検査項目の臨床的意義、測定法等の知識を修得するとともに、各種臨床検査項目の測定技術を修得して専門性を高め、さらに検査データから偽りの値や病態を判読できる思考力・判断力を高めるカリキュラムを構成しています。病院実習では臨床検査技師の現場での働き方から自分の将来像を描き、また、患者様との接し方、チーム医療についても学びます。修得した専門分野の総合力を臨床検査技師国家試験で確認します。

教養科目 (29生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修選択別	毎週授業時間数								総授業時間数		授業外学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与			
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義	演習			実験・実習	五感を刺激する学びによって、感性豊かな表現力や創造的 thinking を身につける	他者と協調・協働しながら、地域の課題や専攻分野のテーマを題材に実践力を磨く	自立した社会人として活躍するための専門的知識や技能を深め、究める
				前	後	前	後	前	後	前	後								
1 導入科目	芸術と科学の協調	2	○		2						30	60			◎				
	コンピュータリテラシ	2	◎	2							30	60			◎				
	社会と倫理	2	○	2							30	60			◎				
4 地域連携・キャリア教育科目	倉敷と仕事	2	◎	2	(2)						30	60			○	◎			
	人生と仕事	2	○		2						30	60			○	◎			
	キャリア・ラーニング	2	○		2	(2)					30	60			○	◎			
	マナーマイスター	2	○	2							30	60			○	◎			
	倉敷まちづくり基礎論	2	○	2							30	60			○	◎			
	倉敷地域フィールドワーク	2	○	2							30	60			○	◎			
	地域インターンシップ I	2	○			4						60	30		○	◎			
	地域インターンシップ II	1	○				2					30	15		○	◎			
	認定フィールドワーク実践 I	2	○			4						60	30		○	◎			
	認定フィールドワーク実践 II	2	○			4						60	30		○	◎			
17 文化と芸術	現代の芸術	2	○			2					30	60			◎				
	くらしと芸術	2	○			2					30	60			◎				
	メディア映像論	2	○			2					30	60			◎				
	哲学	2	○			2					30	60			◎				
	文学	2	○			2					30	60			◎				
	日本の伝統芸能	2	○			2					30	60			◎				
	宗教学	2	○			2					30	60			◎				
	心理学	2	○			2					30	60			◎				
	言語学	2	○			2					30	60			◎				
	25 文化と社会	日本国憲法	2	○			2					30	60			◎			
政治学		2	○			2					30	60			◎				
歴史学		2	○			2					30	60			◎				
異文化理解		2	○			2					30	60			◎				
法学		2	○			2					30	60			◎				
経済学		2	○			2					30	60			◎				
マスコミ論		2	○			2					30	60			◎				
32 生活と科学		生活と健康	2	○			2					30	60			◎			
		地球科学	2	○			2					30	60			◎			
		数学	2	○			2					30	60			◎			
	化学	2	○			2					30	60			◎				
	生物学	2	○			2					30	60			◎				
	物理学	2	○			2					30	60			◎				
	統計学	2	○			2					30	60			◎				

系列	授 業 科 目	単 位 数	必 修 選 択 別	毎 週 授 業 時 間 数								総 授 業 時 間 数		授 業 外 学 習 時 間 数	備 考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与			
				1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		講 義	演 習			実 験 ・ 実 習	五感を刺激する学 びによって、感性 豊かな表現力や創 造的思考力を身に つける	他者と協調・協働 しながら、地域の 課題や専攻分野の テーマを題材に実 践力を磨く	自立した社会人として活躍するための 専門的知識や技 能を深め、究める
				前	後	前	後	前	後	前	後								
外 国 語	英語 I	2	◎	2							30	60	日本人学生対象	◎					
	英語 II	2	◎	2							30	60		◎					
	英語 III	2	○		2						30	60		◎					
	英語 IV	2	○			2					30	60		◎					
	日本語 I	2	◎	2							30	60	外国人留学生対象	◎					
	日本語 II	2	◎	2							30	60		◎					
	日本語 III	2	◎	2							30	60		◎					
	日本語 IV	2	◎	2							30	60		◎					
	日本語 V	1	◎		1						15	30		◎					
	日本語 VI	1	◎			1					15	30		◎					
	日本語 VII	1	◎				1				15	30		◎					
	日本語 VIII	1	◎					1			15	30		◎					
	英会話 I	2	○		2	(2)					30	60	◎						
	英会話 II	2	○			2					30	60	◎						
	中国語コミュニケーション I	2	○	2							30	60	◎						
	中国語コミュニケーション II	2	○		2						30	60	◎						
	ハングル I	2	○	2							30	60	◎						
	ハングル II	2	○		2						30	60	◎						
	保 健 体 育	保健体育概論	2	○	(2)	2						30	60	◎					
保健体育実技 I		1	○	2							30	15	◎						
保健体育実技 II		1	○		2						30	15	◎						
高 大 接 続 科 目	基本数学	2	○	2	(2)						30	60							
	基本英語	2	○	2	(2)						30	60							
	基本化学	2	○	2	(2)						30	60							
	基本物理	2	○	2	(2)						30	60							

※科目「認定フィールドワーク実践 I・II」において単位認定の対象となる活動については、シラバスを参照すること。

メディア映像学科専攻科目 (29生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修 選択 別	毎 週 授 業 時 間 数								総授業 時間数	授業外 学習時間数	備 考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与							
				1年次		2年次		3年次		4年次					講義	演習	実験・実習	専門分野における幅広い知識による企画力	専門分野における幅広い制作力と技術力	専門分野における独自の表現力	地域や社会に関する諸課題を、専門的知識を活かし解決することができる思考力	他者と協調・協働でき、自らの意見を的確に表明できるコミュニケーション能力
				前	後	前	後	前	後	前	後											
1	西洋美術史	2	○	2							30	60		◎								
2	芸術文化論	2	○			2					30	60		◎								
3	現代芸術論	2	○			2					30	60		◎								
4	デザイン史	2	○	2							30	60		◎								
5	色彩学	2	○	2							30	60		◎	○							
6	構成論	2	○		2						30	60		◎		○						
7	アニメーション概論	2	○	2							30	60		◎		○						
8	グラフィックデザイン概論	2	○	2							30	60		◎		○						
9	映像概論	2	○	2							30	60		◎	○							
10	デジタル画像	2	○		2						30	60		◎								
11	情報デザイン概論	2	○			2					30	60		◎								
12	認知科学概論	2	○		2						30	60		◎								
13	映像音響概論	2	○		2						30	60		◎								
14	メディア・アート論	2	○			2					30	60		◎		○						
15	ゲームプロデュース論	2	○			2					30	60		◎								
16	映像特論	2	○						2	30	60		◎		○			○				
17	デザイン芸術特論	2	○						2	30	60		◎		○			○				
18	シナリオ論	2	○		2						30	60		◎	○	○						
19	コンテンツ表現論 I	2	○			2					30	60		◎	○							
20	コンテンツ表現論 II	2	○				2				30	60		◎	○							
21	アニメーション基礎	2	●A	4							60	30			◎	○						
22	映像基礎	2	●A	4							60	30			◎	○						
23	マンガ基礎	2	●A	4							60	30			◎	○						
24	デザイン基礎	2	●A	4							60	30			◎	○						
25	写真基礎	2	●A	4							60	30			◎	○						
26	造形基礎演習 I	2	○	4							60	30			◎	○						
27	造形基礎演習 II	2	○	4							60	30			◎	○						
28	造形基礎演習 III	2	○	4							60	30	●Aの7科目中3科目を修得すること		◎	○						
29	イラストレーション基礎	2	●A	4							60	30			◎	○						
30	サウンドデザイン演習	2	○			4					60	30			◎	○						
31	サウンドデザイン実習	2	○			4					60	30			◎	○						
32	2DCG	2	●A	4							60	30			◎	○						
33	3DCG I	2	○			4					60	30			◎	○						
34	3DCG II	2	○			4					60	30			◎	○						
35	音声技術	2	○			4					60	30			◎	○						

系列	授業科目	単 位 数	必修 選 別	毎 週 授 業 時 間 数								講 義	総 授 業 時 間 数	授 業 外 学 習 時 間 数	備 考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与					
				1年次		2年次		3年次		4年次						演 習 ・ 実 習	専 門 分 野 に お け る 幅 広 い 知 識 に よ る 企 画 力	専 門 分 野 に お け る 幅 広 い 創 作 力 と 技 術 力	専 門 分 野 に お け る 独 創 的 な 表 現 力	地 域 や 社 会 に 関 す る 諸 課 題 を、 専 門 的 知 識 を 活 か し 解 決 す る こ と が で き る 思 考 力	他 者 と 協 調 ・ 協 働 で き、 自 ら の 意 見 を 的 確 に 表 明 で き る コ ミュ ニ ケー ション 能 力
				前	後	前	後	前	後	前	後										
36	映像演習	2	●			4					60	30			◎	○					
37	映像実習Ⅰ	2	○					4			60	30			◎	○					
38	映像実習Ⅱ	2	○						4		60	30			◎	○					
39	映像実習Ⅲ	2	○						4		60	30			◎	○					
40	アニメーション演習	2	●			4					60	30			◎	○					
41	アニメーション実習Ⅰ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
42	アニメーション実習Ⅱ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
43	アニメーション実習Ⅲ	2	○					2	2		60	30			◎	○			△		
44	マンガ演習	2	●			4					60	30			◎	○					
45	マンガ実習Ⅰ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
46	マンガ実習Ⅱ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
47	マンガ実習Ⅲ	2	○					2	2		60	30			◎	○			△		
48	コミックイラスト演習	2	●			4					60	30			◎	○					
49	コミックイラスト実習Ⅰ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
50	コミックイラスト実習Ⅱ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
51	コミックイラスト実習Ⅲ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
52	ゲーム演習	2	●			4					60	30			◎	○					
53	Webデザイン演習	2	●			4					60	30			◎	○					
54	ゲーム・Webデザイン実習Ⅰ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
55	ゲーム・Webデザイン実習Ⅱ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
56	ゲーム・Webデザイン実習Ⅲ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
57	ゲーム・Webデザイン実習Ⅳ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
58	ゲーム・Webデザイン実習Ⅴ	2	○					4			60	30			◎	○			△		
59	知的財産権	2	○					2			30	60			◎						
60	タイポグラフィ	2	○					2			30	60			◎	○					
61	コピーライティング	2	○					2			30	60			◎	○					
62	コミュニケーション論	2	○			2					30	60			◎		○				
63	会話分析	2	○					2			30	60			◎		○				
64	コンピュータ演習Ⅰ	2	○	4							60	30			◎						
65	コンピュータ演習Ⅱ	2	○		4						60	30			◎						
66	情報ネットワーク概論	2	○					2			30	60			◎						
67	情報と職業	2	○			2					30	60			◎						
68	情報社会とモラル	2	○			2					30	60			◎						
69	プログラミング基礎Ⅰ	2	○			4					60	30			◎						
70	プログラミング基礎Ⅱ	2	○					4			60	30			◎						
71	情報システム基礎	2	○					2			30	60			◎				○		
72	文化財学概論	2	○					2			30	60			◎				○		
73	博物館概論	2	○			2					30	60			◎				○		
74	博物館資料論	2	○					2			30	60			◎				○		
75	博物館経営論	2	○							2	30	60			◎				○		
76	博物館資料保存論	2	○							2	30	60			◎				○		
77	博物館展示論	2	○					1	1		30	60			◎				○		
78	博物館実習	3	○							3	3	90	45			◎			○		
79	博物館学特論	2	○					2			30	60			◎				○		
80	博物館教育論	2	○			2					30	60			◎				○		
81	博物館情報・メディア論	2	○			2					30	60			◎				○		
82	総合プロジェクト実習Ⅰ	2	○					4			60	30				○	◎		○		
83	総合プロジェクト実習Ⅱ	2	○						4		60	30				○	◎		○		
84	プロジェクト演習	2	○	1	1						30	60				○	◎		○		
85	総合プロジェクト演習	2	○			1	1				30	60				○	◎		○		
86	卒業研究	10	◎							10	10	300	150			○	◎	◎	○		

●Bの6科目中3科目を修得すること

デザイン芸術学科専攻科目（29生） カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修 選択 別	毎週授業時間数								総授業 時間数	授業外 学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与						
				1年次		2年次		3年次		4年次					講義 演習	実験・実習	専門分野における幅広い知識を得て創作や企画に活かす能力	専門分野における幅広い創作に関する技術力	専門分野における独自の表現力	地域や社会に関する諸課題について、知性と感性を活かして問題解決する能力	他者と協働での調・協働での意見の的確に表明できるコミュニケーション能力
				前	後	前	後	前	後	前	後										
1	西洋美術史	2	◎	2							30	60		◎							
2	日本美術史	2	◎	2							30	60		◎							
3	東洋美術史	2	○		2						30	60		◎							
4	デザイン史	2	○	2							30	60		◎							
5	工芸史	2	○	2							30	60		◎							
6	ファッション文化史	2	○		2						30	60		◎							
7	日本近代美術史	2	○		2						30	60		◎							
8	美学・芸術学概論	2	○	2							30	60		◎							
9	現代芸術論	2	○	2							30	60		◎							
10	デザイン概論	2	○	2							30	60		◎							
11	構成論	2	○	2							30	60		◎							
12	図学	2	○	2							30	60		◎							
13	色彩学	2	○	2							30	60		◎							
14	デザイン理論	2	○		2						30	60		◎							
15	サステイナブルデザイン論	2	○			2					30	60						◎			
16	デザイン芸術特論	2	○					2			30	60						◎			
17	絵画基礎Ⅰ	2	◎	4							60	30		◎	○	○					
18	絵画基礎Ⅱ	2	◎	4							60	30		◎	○	○					
19	絵画基礎Ⅲ	2	○		4						60	30		◎	○	○					
20	彫刻基礎	2	◎	4							60	30		◎	○	○					
21	工芸基礎	2	◎	4							60	30		◎	○	○					
22	デザイン基礎Ⅰ	2	◎	4							60	30		◎	○	○					
23	デザイン基礎Ⅱ	2	◎	4							60	30		◎	○	○					
24	コンピュータ演習	1	○	2							30	15		◎	○						
25	製図演習Ⅰ	1	○	2							30	15		◎	○						
26	製図演習Ⅱ	1	○	2							30	15		◎	○						
27	デザイン芸術技法演習	2	○		4						60	30		◎	○	○					
28	デザイン芸術表現演習	2	○			4					60	30		◎	○	◎					
29	工芸材料論	2	○		2						30	60		◎				△			

ディプロマポリシーに対する関与の程度
 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与

系列	授業科目	単位数	必修 選択 別	毎週授業時間数								総授業時間数		備考	専門分野における幅広い知識を得て創作や企画に活かす能力	専門分野における幅広い創作に関する技術力	専門分野における独自の表現力	地域や社会に関する諸課題について、知性と感性を活かして問題解決する能力	他者と協働で、調・協働での意見をもとに、自らのコミュニケーション能力
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義 演習	実験・実習						
				前	後	前	後	前	後	前	後								
専門科目	30 美術工芸演習Ⅰ	2	○		4						60	30		○	◎	◎			
	31 美術工芸演習Ⅱ	2	○		4						60	30		○	◎	◎			
	32 美術工芸演習Ⅲ	2	○			4					60	30		○	◎	◎			
	33 美術工芸演習Ⅳ	2	○			4					60	30		○	◎	◎			
	34 美術工芸演習Ⅴ	2	○			4					60	30		○	◎	◎			
	35 デザイン演習Ⅰ	2	○		4						60	30		○	◎	◎		△	
	36 デザイン演習Ⅱ	2	○		4						60	30		○	◎	◎		△	
	37 デザイン演習Ⅲ	2	○			4					60	30		○	◎	◎		△	
	38 デザイン演習Ⅳ	2	○			4					60	30		○	◎	◎		△	
	39 美術工芸実習Ⅰ	6	○				12					180	90			○	◎		
40 美術工芸実習Ⅱ	6	○					12				180	90			○	◎			
41 デザイン実習Ⅰ	6	○					12				180	90			○	◎		△	
42 デザイン実習Ⅱ	6	○					12				180	90			○	◎		△	
総合プロジェクト科目	43 総合プロジェクト演習Ⅰ	2	○		4						60	30						○	◎
	44 総合プロジェクト演習Ⅱ	2	○			4					60	30						○	◎
	45 総合プロジェクト実習Ⅰ	2	○				4				60	30						○	◎
	46 総合プロジェクト実習Ⅱ	2	○					4			60	30						○	◎
	47 総合プロジェクト実習Ⅲ	2	○						4		60	30						○	◎
	48 プロジェクトマネジメント論	2	○				2				30	60						○	◎
	49 知的財産権	2	○					2			30	60						○	◎
	50 映像表現史	2	○			2					30	60			△				
	51 メディア・アート論	2	○		2						30	60			△				
	52 認知科学概論	2	○				2				30	60			△				
関連科目	53 コピーライティング	2	○				2				30	60			△				
	54 タイポグラフィ	2	○			2					30	60			△				
	55 芸術文化論	2	○			2					30	60			○				
	56 文化財学概論	2	○				2				30	60			△				
	57 博物館概論	2	○		2						30	60			△				
	58 博物館学特論	2	○			2					30	60			△				
	59 博物館資料論	2	○			2					30	60			△				
	60 博物館経営論	2	○				2				30	60			△				
	61 博物館資料保存論	2	○					2			30	60			△				
	62 博物館展示論	2	○				1	1			30	60			△				
63 博物館実習	3	○						3	3		90	45			△			△	
64 博物館教育論	2	○		2						30	60			△				○	
65 博物館情報・メディア論	2	○		2						30	60			△					
66 卒業研究	10	◎						10	10		300	150			○	◎			◎

生命科学科専攻科目（29生）カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修 選択 別	授業時間数								総授業 時間数		授業 外 学習 時間 数	備 考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与			
				1年次		2年次		3年次		4年次		講 義	演 習			実 験 ・ 実 習	生物学や化学の 基礎知識を持ち、 専門的知識を 活用できる能力	水産学、食品科 学、香粧学、環 境化学などの専 門分野、及びそ の複合領域の専 門科目を縦断的 に学び、その知 識を複合的に応 用し問題を解決 する能力	これらの分野の 専門的知識を活 用し、持続可能 な社会の構築に 貢献できる能力
				前	後	前	後	前	後	前	後								
1	基礎化学Ⅰ	2	○	30						30		60		○					
2	基礎化学Ⅱ	2	○	30						30		60		○					
3	基礎化学実験	2	○			60					60	30		◎					
4	★基礎物理学Ⅰ	2	○	30						30		60		○					
5	★基礎物理学Ⅱ	2	○	30						30		60		○					
6	基礎生物学Ⅰ	2	○	30						30		60		○					
7	基礎生物学Ⅱ	2	○	30						30		60		○					
8	基礎地学Ⅰ	2	○	30						30		60		○					
9	基礎地学Ⅱ	2	○	30						30		60		○					
10	★分析化学	2	○	30						30		60		○					
11	有機化学	2	○	30						30		60		○					
12	★生化学	2	○	30						30		60		○					
13	★基礎物理学実験	2	○	60							60	30		○					
14	基礎生物学実験	2	○		60						60	30		○					
15	基礎地学実験	2	○		60						60	30		○					
16	無機化学Ⅰ	2	○	30						30		60		○					
17	生命科学基礎実験	1	◎	30							30	15		◎					
18	生命科学実験	3	◎			90					90	45			◎				
19	特別演習	2	◎				30			30		60			◎				
20	★基礎分子生物学	2	○		30					30		60		○					
21	★薬理学	2	○				30			30		60		○					
22	★生理学Ⅰ	2	○	30						30		60		○					
23	★臨床免疫学Ⅰ	2	○		30					30		60		○					
24	★電気工学概論Ⅰ	2	○	30						30		60		○					
25	★電気工学概論Ⅱ	2	○		30					30		60		○					
26	★電子工学概論	2	○		30					30		60		○					
27	★チーム医療概論	2	○			30				30		60		○					
28	★生物物性工学	2	○			30				30		60		○					
29	★機械工学	1	○		15					15		30		○					
30	★医用材料工学	2	○				30			30		60		○					
31	★応用数学	2	○	30						30		60		○					
32	★医学概論	2	○	30						30		60		○					
33	★公衆衛生学	2	○	30						30		60		○					
34	★解剖学	2	○	30						30		60		○					
35	★病理学Ⅰ	2	○		30					30		60		○					
36	減災・備災のすすめ	2	○			30				30		60				△			
37	減災・備災体験実習	1	○				30				30	15				△			

系列	授 業 科 目	単 位 数	必 修 選 択 別	授 業 時 間 数								総 授 業 時 間 数		授 業 外 学 習 時 間 数	備 考	生物学や化学の基礎知識を持ち、専門的知識を活用できる能力	水産学、食品科学、化粧品学、環境化学などの専門分野、及びその複合領域の専門科目を縦断的に学び、その知識を複合的に応用し問題を解決する能力	これらの分野の専門的知識を活用し、持続可能な社会の構築に貢献できる能力
				1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		講 義	演 習					
				前	後	前	後	前	後	前	後							
				前	後	前	後	前	後	前	後	講 義	演 習					
38	★ 臨床生理学 I	2	○		30					30		60					○	
39	★ 臨床生理学 II	2	○			30				30		60					○	
40	★ 関係法規	1	○						15	15		30					○	
41	★ 医用機器学概論	2	○			30				30		60					○	
42	★ 医用治療機器学	2	○			30				30		60					○	
43	★ 医用治療機器学実習	1	○					45			45	0					○	
44	★ 生体計測装置学実習	1	○					45			45	0					○	
45	★ 代謝機能代行装置学	4	○			60				60		120					○	
46	★ 呼吸機能代行装置学	4	○				60			60		120					○	
47	★ 循環機能代行装置学	2	○			30				30		60					○	
48	★ 代謝機能代行装置学実習	1	○					45			45	0					○	
49	★ 呼吸機能代行装置学実習	1	○					45			45	0					○	
50	★ 循環機能代行装置学実習	1	○					45			45	0					○	
51	★ 医療安全管理学 I	2	○		30					30		60					○	
52	★ 医療安全管理学 II	2	○			30				30		60					○	
53	★ 医療安全管理学実習	1	○					45			45	0					○	
54	★ 臨床病態学 I	2	○					30		30		60					○	
55	★ 臨床病態学 II	2	○					30		30		60					○	
56	★ 臨床病態学 III	2	○					30		30		60					○	
57	★ 臨床病態学 IV	2	○					30		30		60					○	
58	★ 臨床実習 I	1	○					30			30	15					◎	
59	★ 臨床実習 II	2	○					60			60	30					◎	
60	★ 臨床実習 III	2	○					60			60	30					◎	
61	★ 電気電子工学実習	1	○		30						30	15					○	
62	★ 臨床実習 IV (学内実習)	2	○					60			60	30					◎	
63	★ 臨床支援技術学	1	○				15			15		30					○	
64	★ 臨床支援技術学実習	1	○				30				30	15					○	
65	★ 情報処理工学	2	○		30					30		60					○	
66	★ 美容機器学概論	2	○			30				30		60					○	
67	★ システム工学実習	1	○		30						30	15					○	
68	★ 医用生体工学実習	1	○		30						30	15					○	
69	★ 生理学実習	1	○		45						45	0					○	
70	★ 解剖学実習	1	○		45						45	0					○	
71	生命化学 コース	2	○		30					30		60					○	
72	無機化学 II	2	○	30						30		60					○	
73	★ バイオテクノロジー	2	○				30			30		60					○	
74	酵素化学	2	○		30					30		60					○	
75	応用微生物学	2	○			30				30		60					○	
76	食品機能学	2	○		30					30		60					○	
77	水生動物学	2	○		30					30		60					○	
78	水界生態学	2	○			30				30		60					○	
79	水族飼育技術論	2	○		30					30		60					○	
80	香料学概論	2	○		30					30		60					○	
81	化粧品科学	2	○			30				30		60					○	
-	バイオテクノロジー	2	○				30			30		60					○	
-	酵素化学	2	○		30					30		60					○	
-	応用微生物学	2	○			30				30		60					○	
82	生命科学ゼミナール I	4	○	60						60		120					△	
83	生命科学ゼミナール II	4	○		60					60		120					△	
84	生命科学ゼミナール III	4	○			60				60		120					△	
85	生命科学ゼミナール IV	4	○				60			60		120					△	
86	卒業研究	8	○					120	120			240	120					◎

ディプロマポリシーに対する関与の程度
◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与

健康科学科 専攻科目 (29生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修 選択 別	授業時間数								総授業時間数		備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与					
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義 演習	実験・実習		授業外 学習時間数	健康増進、競技 力向上、スポーツ 障害の予防に ついて適切なケ アができる能力	障害、傷病など により救援を要 する人に対して 現場で適切なケ アを行い医療機 関と連携して救 助が行える能力	学校教育におい て児童生徒の心 身の健全な成 長と発育に、ス ポーツ、運動、 栄養の面から教 育できる能力	現代社会の健康 問題について、 スポーツ、健康 科学、運動指 導、救急医療の 各分野の立場か ら解決すること ができる能力	健康科学に関す る知識・技能を 基礎として、他 者との協働の中 で協調性、積極 性を発揮し、社 会の向上に寄与 できる能力
				前	後	前	後	前	後	前	後									
1	★ 生化学	2	○		30						30	60								
2	★ 生理学	2	○		30						30	60								
3	○ ◆ ★ 運動生理学	2	○		30						30	60		○			△			
4	◆ 健康スポーツ概論	2	○		30						30	60		△			◎			
5	◆ 健康管理概論	2	○		30						30	60					○			
6	食品栄養学	2	○		30						30	60					◎			
7	食品学総論(食品加工学含む)	2	○		30						30	60					◎			
8	◆ 栄養学概論	2	○		30						30	60					◎			
9	◆ 生活習慣病予防	2	○					30			30	60					◎			
10	◆ △ メンタルヘルス	2	○		30						30	60					◎	△		
11	カウンセリング	2	○					30			30	60					◎	△		
12	★ 微生物学	2	○		30						30	60					○			
13	食品衛生学	2	○					30			30	60					○			
14	バイオサイエンス	2	○		30						30	60					○			
15	保健医療総論	2	○		30						30	60					○			
16	★ 環境保健科学	2	○		30						30	60					◎			
17	学校保健	2	○					30			30	60					◎			
18	★ 衛生学・公衆衛生学	2	○					30			30	60					◎	○		
19	○ ◆ スポーツ医学 I	2	○		30						30	60					◎			
20	○ ◆ ★ 一般救急救命	2	○					30			30	60		○			◎			
21	○ ◆ △ スポーツトレーニング理論	2	○		30						30	60		◎						
22	◆ △ スポーツトレーニング実習	2	○		60						60	30		○			◎			
23	○ ◆ △ 体力測定法(実習含む)	2	○		30						30	60		△						
24	◆ △ 運動負荷試験(実習含む)	2	○					30			30	60		◎						
25	◆ △ 健康運動のプログラミング	2	○					30			30	60		◎			○			
26	◆ △ 運動処方	2	○					30			30	60		◎			○			
27	○ ◆ トレーニング科学	2	○					30			30	60		○						
28	◆ トレーニング実習	2	○					60			60	30		◎				△		
29	◆ △ エアロビクスサイズ実習	2	○					60			60	30		△			○			
30	ヒーリング実習	2	○					60			60	30		△			○			
31	○ ◆ スポーツ心理学	2	○					30			30	60					△			
32	○ ◆ △ スポーツ栄養学	2	○					30			30	60		◎			○			
33	○ △ スポーツ社会学	2	○					30			30	60						○		
34	○ △ スポーツマネージメント	2	○					30			30	60						○		
35	体育原理	2	○					30			30	60					◎	△		
36	◆ 発育・発達と老化	2	○					30			30	60					○			
37	キッズスポーツ理論	2	○					30			30	60					○			
38	キッズスポーツ実習	2	○					60			60	30					○			
39	○ 体表解剖学	2	○		30						30	60		△						
40	○ ◆ 機能的解剖学	2	○		30						30	60		△						
41	○ アスレティックトレーナー概論	2	○		30						30	60		○						
42	○ △ スポーツ指導者基礎	2	○		30						30	60					◎			
43	○ ◆ △ ストレッチ理論(実習含む)	2	○		30						30	60		○						
44	○ △ スポーツ指導論 I	2	○		30						30	60					◎			
45	○ スポーツ指導論 II	2	○					30			30	60					◎			
46	○ スポーツコンディショニング理論	2	○					30			30	60		○						
47	○ スポーツ医学 II	2	○					30			30	60					◎			
48	○ スポーツ医学 III	2	○					30			30	60					◎			
49	○ ◆ スポーツ障害論	2	○					30			30	60					◎			
50	○ ◆ テーピング理論(実習含む)	2	○					30			30	60		◎						
51	○ ◆ バイオメカニクス	2	○		30						30	60		△						
52	○ バイオメカニクス演習	2	○					30			30	60		△						
53	○ アスレティックリハビリテーション理論	2	○					30			30	60		○						
54	○ アスレティックリハビリテーション実習	2	○					60			60	30					◎	△		
55	○ アスレティックトレーナー実習 I	2	○					60			60	30		○			◎	△		
56	○ アスレティックトレーナー実習 II	2	○					60			60	30		○			◎	△		
57	○ アスレティックトレーナー実習 III	2	○					60			60	30		○			◎	△		

系列	授業科目	単位数	必修 選択 別	授業時間数								総授業時間数		備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与					
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義	演習		実験・実習	健康増進、競技力向上、スポーツ障害の予防に 関与できる能力	障害、傷病などにより救済を要する人に対して適切なケアが行える能力	学校教育において児童生徒の心身の健全な成長と発育に、スポーツ、運動、栄養の面から教育できる能力	現代社会の健康問題について、スポーツ、健康科学、運動指導、救急医療の各分野の立場から解決することができる能力	健康科学に関する知識・技能を基礎として、他者との協働の中で協調性、積極性を発揮し、社会の向上に寄与できる能力
				前	後	前	後	前	後	前	後									
58	★救急医学概論Ⅰ	2	○	60						60	30		◎	○						
59	★救急医学概論Ⅱ	2	○	60						60	30		◎	○						
60	★解剖学	2	○	30						30	60		◎	○						
61	★病理学	2	○		30					30	60		○	◎						
62	★薬理学	2	○		30					30	60		○	◎						
63	★精神医学	2	○			60				60	30		○	◎						
64	★放射線科学	2	○			30				30	60		○	◎						
65	★内科学Ⅰ(総論)	2	○		60					60	30		○	◎						
66	★内科学Ⅱ(呼吸・循環系)	2	○			60				60	30		○	◎						
67	★内科学Ⅲ(消化器・内分泌系)	2	○				60			60	30		○	◎						
68	★内科学Ⅳ(神経系)	2	○					60		60	30		○	◎						
69	★外科学Ⅰ(総論)	2	○				60			60	30		○	◎						
70	★外科学Ⅱ(各論)	2	○					60		60	30		○	◎						
71	★小児科学	2	○				60			60	30		○	◎						
72	★整形外科	2	○				60			60	30		○	◎						
73	★医学検査	2	○				60			60	30		○	◎						
74	★産婦人科学	2	○					60		60	30		○	◎						
75	★脳外科学	2	○					60		60	30		○	◎						
76	★救命救急法	2	○						90		90	0		○		◎	○			
77	★救急・災害医療	2	○					30		30	60		○	◎						
78	★シミュレーションⅠ	2	○		90						90	0		○		◎	○			
79	★シミュレーションⅡ	2	○			90					90	0		○		◎	○			
80	★シミュレーションⅢ	2	○				90				90	0		○		◎	○			
81	★シミュレーションⅣ	3	○						135		135	0		○		◎	○			
82	★病院実習	12	○							540	540	0		○		◎				
83	★救急車同乗実習	3	○							135	135	0		○		◎				
84	ウィンタースポーツ実習	2	○	60							60	30				◎				
	生涯スポーツ論	2	○		30					30	60					◎				
	野外スポーツ実習論	2	○				30			30	60					◎				
85	野外スポーツ実習	2	○				60				60	30				◎				
86	スポーツ実習Ⅰ(陸上)	2	○				60				60	30				◎				
87	◆△ スポーツ実習Ⅱ(水泳)	2	○	60							60	30				◎				
88	スポーツ実習Ⅲ(球技)	2	○		60						60	30				◎				
89	スポーツ実習Ⅳ(武道)	2	○			60					60	30				◎				
90	スポーツ実習Ⅴ(テニス)	2	○				60				60	30				◎				
91	スポーツ実習Ⅵ(体操)	2	○					60			60	30				◎				
92	減災・備災のすすめ	2	○			30				30	60					◎	○			
93	減災・備災体験実習	1	○				30				30	15				○	◎			
94	ゼミナール	4	◎			30	30			60	120					◎	○			
95	卒業研究	6	◎						90	90	180	90				○	◎			
96	基礎演習	2	◎	15	15					30	60			△		△	△			

○：アスレティックトレーナーの受験資格科目

★：救急救命士受験対象科目

△：スポーツプログラマーⅠ種養成講習会専門科目の講習免除科目「(なお、教養科目「保健体育実技Ⅱ」を必ず履修すること。)」

◆：健康運動指導士(健康運動実践指導者を含む)の受験資格科目「(なお、教養科目「保健体育実技Ⅱ」を必ず履修すること。)」

動物生命科学専攻科目（29生） カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修選択別	授業時間数								総授業時間数 講義 演習 実験・実習	授業外学習時間数	備考	デュプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与					
				1年次		2年次		3年次		4年次					生命の尊厳や人権尊重をふまえた高い倫理観を身につけて、動物や飼育主に寄り添うことができる能力	動物の健康と生育環境について科学的根拠に基づき判断することができる能力	動物看護実践に必要な専門的なコミュニケーション能力	動物看護実践の場において、適切なアセスメントに基づいて看護を創造し実践することができる能力	協働するチーム内でリーダーシップを発揮し、その発展に貢献できる能力	社会の変化に適切に対応できる動物看護を創造し実践するために必要な専門的知識を身につける能力
				前	後	前	後	前	後	前	後									
1	生物統計学	2	○		30						30	60			◎					
2	動物進化論 I	2	○				30				30	60			△					
3	バイオサイエンス	2	○		30						30	60			△					
4	基礎化学 I	2	○	30							30	60			△					
5	基礎化学 II	2	○		30						30	60			△					
6	基礎物理学 I	2	○	30							30	60			△					
7	基礎物理学 II	2	○		30						30	60			△					
8	基礎生物学 I	2	○	30							30	60			△					
9	基礎生物学 II	2	○		30						30	60			△					
10	基礎地学 I	2	○	30							30	60			△					
11	基礎地学 II	2	○		30						30	60			△					
12	基礎化学実験	2	○				60					60	30		△					
13	基礎物理学実験	2	○		60							60	30		△					
14	基礎生物学実験	2	○			60						60	30		△					
15	基礎地学実験	2	○				60					60	30		△					
16	無機化学 I	2	○	30							30	60			△					
17	無機化学 II	2	○		30						30	60			△					
18	基礎分子生物学	2	○			30					30	60			△					
19	天然物化学	2	○			30					30	60			△					
20	動物形態機能学 I	2	○	30							30	60			◎					
21	動物形態機能学 II	2	○		30						30	60			◎					
22	動物形態機能学 III	2	○	30							30	60			◎					
23	動物繁殖学	2	○		30						30	60			◎					
24	動物感染症学 I	2	○		30						30	60			◎					
25	生命倫理・動物福祉	2	○	30							30	60			◎					
26	適正飼養指導論	2	○		30						30	60					◎			
27	動物薬理学 I	2	○			30					30	60			◎				○	
28	動物病理学	2	○			30					30	60			◎					
29	動物栄養学	2	○			30					30	60			◎					
30	動物感染症学 II	2	○			30					30	60			◎					
31	動物薬理学 II	2	○				30				30	60			◎				○	
32	人と動物の関係学	2	○					30			30	60			◎					
33	動物行動学	2	○					30			30	60			◎					
34	公衆衛生学	2	○						30		30	60			◎					
35	動物看護技術学	2	○	30							30	60			○			◎		
36	動物内科看護学	2	○					30			30	60			○			◎		
37	動物看護技術学実習	2	○	60								60	30		○			◎		
38	動物内科看護学実習	2	○					60					60	30				◎		
39	動物看護学概論	2	○			30					30	60						◎		
40	動物臨床検査学	2	○				30				30	60			◎					

系 列	授 業 科 目	単 位 数	必 修 選 択 別	授 業 時 間 数								総 授 業 時 間 数	授 業 外 学 習 時 間 数	備 考	デュプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与								
				1年次		2年次		3年次		4年次					講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	生命の尊厳や 人権尊重をふ まえた高い倫 理観を身につ け、動物や飼 い主に寄り添 うことができ る能力	動物の健康と 生育環境につ いて科学的根 拠に基づき判 断することができる能力	動物看護実践 に必要な専門 的なコミュニ ケーション能 力	動物看護実践 の場において、 適切なアッセ スメントに基 づいて看護を 創造し実践す ることができる能力	協働するチー ム内でリーダ ーシップを発 揮し、その発 展に貢献でき る能力	社会の変化に 適切に対応で きる動物看護 を創造し実践 するために必 要な専門的知 識を身につけ 研鑽しつづけ る能力
				前	後	前	後	前	後	前	後												
				前	後	前	後	前	後	前	後												
41	動物臨床検査学実習	2	○				60					60	30			◎			○				
42	動物臨床看護学総論	2	○						30			30							◎				
43	動物臨床看護学各論Ⅰ	2	○					30				30							◎				
44	動物臨床看護学各論Ⅱ	2	○						30			30							◎				
45	動物臨床看護学各論Ⅲ	2	○						30			30							◎				
46	動物医療コミュニケーション	2	○						30			30						◎					
47	愛玩動物学	2	○					30				30							◎				
48	動物臨床看護学実習	1	○					30				30	15						◎				
49	動物外科看護学	2	○					30				30							◎				
50	動物外科看護学実習	2	○					60				60	30						◎				
51	実験動物学	2	○					30				30							◎				
52	実験動物学演習	4	○						30	30		30							◎				
53	比較動物学	2	○						30										◎				
54	動物看護関連法規	1	○		15							15								◎			
55	動物愛護・適正飼養関連法規	1	○		15							15								◎			
56	動物形態機能学実習	1	○			30						30	15						◎				
57	動物生活環境学	1	○							15		15							◎				
58	動物愛護・適正飼養実習	2	○			60						60	30						◎				
59	ペット関連産業概論	1	○							15		15							○	◎			
60	動物看護総合実習	2	○						30	30		60	30						◎				
61	減災・備災のすすめ	2	○				30					30							△				
62	減災・備災体験実習	1	○				30					30	15						△				
63	特別講義	2	○			15	15					30								◎			
64	卒業研究	8	○						120	120		240	120						○	◎			

生命医科学科専攻科目（29生） カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修選択別	授業時間数								総授業時間数		備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与					
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義	演習		実験・実習	見えて感じてイメージできるアートの能力と、観察し検証・考察できるサイエンス的能力	臨床検査の知識・技術で正確に物質の濃度や生体情報を検出できる能力	社会人、医療人として社会、医療現場に適応できるコミュニケーション能力	目の前の現象を理解し、次への行動ができる能力	人に優しく丁寧に話せる能力
				前	後	前	後	前	後	前	後									
1	基礎化学 I	2	○	30						30		60								
2	基礎化学 II	2	○		30					30		60								
3	基礎化学実験	2	○			60					60	30								
4	基礎物理学 I	2	○	30						30		60		○						
5	基礎物理学 II	2	○		30					30		60		○						
6	基礎生物学 I	2	○	30						30		60		○						
7	基礎生物学 II	2	○		30					30		60		○						
8	基礎地学 I	2	○	30						30		60		○						
9	基礎地学 II	2	○		30					30		60		○						
10	分析化学	2	○		30					30		60		○						
11	有機化学	2	○		30					30		60								
12	基礎物理学実験	2	○		60						60	30		○						
13	基礎生物学実験	2	○			60					60	30		○						
14	基礎地学実験	2	○				60				60	30								
15	無機化学 I	2	○	30						30		60								
16	無機化学 II	2	○		30					30		60								
17	基礎分子生物学	2	○		30					30		60								
18	生物学入門	2	○			30				30		60		○						
19	基礎解剖学	1	◎	15						15		30								
20	生理学	2	◎	30						30		60		◎						
21	生理学実習	1	◎		45						45	0							○	
22	循環機能検査学	2	◎		30					30		60		○						
23	呼吸・神経機能検査学	2	◎			30				30		60		○						
24	超音波・画像検査学	2	◎				30			30		60		○						
25	臨床生理学実習	2	◎					90			90	0						○	○	
26	病理学 I	2	◎			30				30		60								
27	病理学 II	2	◎				30			30		60								
28	病理学実習	1	◎					45			45	0		○						
29	解剖学	2	◎		30					30		60								
30	解剖学実習	1	◎		45						45	0								
31	組織学	2	◎		30					30		60		◎						
32	生化学 I	2	◎	30						30		60		◎						
33	生化学 II	2	◎		30					30		60		◎						
34	生化学実習	1	◎			45					45	0		○						
35	臨床化学 I	2	◎		30					30		60								
36	臨床化学 II	2	◎			30				30		60								
37	臨床化学実習	1	◎				45				45	0						○		
38	臨床微生物学 I	2	◎		30					30		60								
39	臨床微生物学 II	2	◎			30				30		60								
40	微生物学実習	2	◎				90				90	0						○		
41	臨床血液学 I	2	◎		30					30		60								
42	臨床血液学 II	2	◎			30				30		60								
43	臨床血液学実習	1	◎				45				45	0						○		
44	医学概論	2	◎	30						30		60						◎		
45	一般検査学	2	◎		30					30		60								
46	臨床検査総論実習	1	◎			45					45	0						○		
47	公衆衛生学	2	◎				30			30		60						◎		
48	医用工学概論	1	◎				30			30		15		◎						

ディプロマポリシーに対する関与の程度
◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与

系列	授業科目	単位数	必修 選択 別	授業時間数								総授業 時間数	授業外 学習 時間数	備考	見て感じてイメージできる アートの能力と、観察し検 証・考察できるサイエンス 的能力	臨床検査の知識・技術で正 確に物質の濃度や生体情報 を検出できる能力	社会人、医療人として社 会、医療現場に適応できる コミュニケーション能力	目の前の現象を理解し、次 への行動ができる能力	人に優しく丁寧に話せる能力			
				1年次		2年次		3年次		4年次										講義	演習	実験・実習
				前	後	前	後	前	後	前	後											
49	医用工学実習	1	◎			45						45	0		○			◎				
50	検査機器論	2	◎	30						30		60					◎					
51	臨床免疫学	2	◎	30						30		60					◎					
52	臨床免疫学実習	1	◎			45						45	0				◎		○			
53	検査管理総論（関係法規含む）	2	◎			30				30		60						◎				
54	生命社会科学概論	1	◎			15				15		30					○		○			
55	臨床病理学	2	◎			30				30		60						◎				
56	医動物学	2	◎	30						30		60					◎					
57	試薬と機器	1	○		15					15		30					○					
58	情報科学実習	2	○	60								60	30				○					
59	遺伝子検査学	2	◎			30				30		60					◎					
60	臨地実習	11	◎			495						495	0	※欄外参照	○	○	○	◎	○			
61	臨床検査学特論Ⅰ	2	◎						30	30		60					○		◎			
62	臨床検査学演習Ⅰ	2	○						30	30		60					○		◎			
63	臨床検査学特論Ⅱ	2	◎						30	30		60					○		◎			
64	臨床検査学演習Ⅱ	2	○						30	30		60					○		◎			
65	細胞学総論Ⅰ	2	◎	30						30		60					◎					
66	細胞学総論Ⅱ	2	○	30						30		60					◎					
67	臨床細胞学演習Ⅰ	1	○			30				30		15						○				
68	臨床細胞学演習Ⅱ	1	○			30				30		15						○				
69	医療安全管理学	1	◎			15				15		30					○	◎	○			
70	医療安全管理学実習	1	◎			30						30	15				○	◎	○			
71	微生物学	1	◎	15						15		30					◎					
72	医学総論（栄養学・薬理学）	2	◎			30				30		60						◎				
73	認知症検査	1	◎			15				15		30						○	◎			
74	遺伝子検査学実習	1	◎			45						45	0					◎				
75	輸血・移植検査学	2	◎			30				30		60						◎	○			
76	輸血・移植検査学実習	2	◎			90						90	0					◎	○			
77	基礎生理検査学	2	◎	30						30		60						◎				
78	臨床検査室概論	1	◎	15						15		30		病院等の見学×3	○			◎	○			
79	臨床検体管理学	2	◎			30				30		60						◎	○			
80	臨床検査総合実習	1	◎			45				45		0						◎	○			
81	減災・備災のすすめ	2	○			30				30		60						○				
82	減災・備災体験実習	1	○			30						30	15					○				
83	細胞診断学特論Ⅰ	2	○						90	90		0						○				
84	細胞診断学特論Ⅱ	2	○						90	90		0						○				
85	細胞診断学特論Ⅲ	2	○						90	90		0						○				
86	細胞診断学特論Ⅳ	1	○						45	45		0						○				
87	細胞診断学特論Ⅴ	1	○						45	45		0						○				
88	細胞診断学特論Ⅵ	1	○						45	45		0						○				
89	卒業研修	8	○						120	120		240	120		○	○	○	◎	○			

【履修上の注意】

- ・臨地実習は、学外の提携病院において行う
- ・ダブルライセンスを希望する学生は「細胞学総論Ⅰ・Ⅱ」「臨床細胞学演習Ⅰ・Ⅱ」および「細胞診断学特論Ⅰ～Ⅵ」を修得すること。
- ・臨床検査技師のみ希望の学生は「卒業研修」を修得することが望ましい。

教養科目 (29生) カリキュラム・ツリー

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
五感を刺激する学びによって、感性豊かな表現力や創造的思考力を身につける	◎コンピュータリテラシ■	芸術と科学の協調						◎必修科目
	社会と倫理							選択科目
								卒業・進級に含めない
								■教員免許 第66条の6に定める科目
	1～4年次	現代の芸術 宗教学	くらしと芸術 心理学	メディア映像論 言語学	哲学	文学	日本の伝統芸能	
1～4年次	日本国憲法■ マスコミ論	政治学	歴史学	異文化理解	法学	経済学		
1～4年次	生活と健康 統計学	地球科学	数学	化学	生物学	物理学		
	◎英語Ⅰ (日本人)	◎英語Ⅱ (日本人)	英語Ⅲ (日本人)	英語Ⅳ (日本人)				
	◎日本語Ⅰ・Ⅱ (留学生)	◎日本語Ⅲ・Ⅳ (留学生)	◎日本語Ⅴ (留学生)	◎日本語Ⅵ (留学生)	◎日本語Ⅶ (留学生)	◎日本語Ⅷ (留学生)		
			英会話Ⅰ■	英会話Ⅱ				
	中国語コミュニケーションⅠ	中国語コミュニケーションⅡ						
	ハングルⅠ	ハングルⅡ						
		保健体育 概論■						
	保健体育 実技Ⅰ■	保健体育 実技Ⅱ■						
他者と協調・協働しながら、地域の課題や専攻分野のテーマを題材に実践力を磨く	◎倉敷と仕事 (◎倉敷と仕事)	人生と仕事						
	マナーマイスター	キャリア・ラーニング						
	倉敷まちづくり基礎論	倉敷地域フィールドワーク	地域インターンシップⅠ	地域インターンシップⅡ				
			認定フィールドワーク実践Ⅰ	認定フィールドワーク実践Ⅱ				
その他	基本数学							
	基本英語							
	基本化学							
	基本物理							

教育目標： 新しいメディア環境に対応した芸術表現の創造と産業の関わりに向けて、幅広い知識と専門領域の技術を身につけて、積極的に社会参加できる人材の養成を目標とする。

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門分野における幅広い制作力と技術力				音声技術				
				サウンドデザイン演習■	サウンドデザイン実習			
	コンピュータ演習 I	コンピュータ演習 II	デジタル画像■	3DCG I■	3DCG II■			
	造形基礎演習 I	造形基礎演習 II・III						
		●写真基礎						
専門分野における独創的な表現力		●アニメーション基礎	●アニメーション演習■		アニメーション実習 I	アニメーション実習 II		
					アニメーション実習 III			
地域や社会に関する諸課題を、専門的知識を活かし解決することができる思考力		●マンガ基礎		●マンガ演習■	マンガ実習 I	マンガ実習 II		
					マンガ実習 III			
		●イラストレーション基礎	●2DCG■	●コミックイラスト演習■		コミックイラスト実習 I	コミックイラスト実習 II	
						コミックイラスト実習 III		
								◎卒業研究
他者と協調・協働でき、自らの意見を的確に表明できるコミュニケーション能力				●ゲーム演習■	ゲーム・Webデザイン実習 I	ゲーム・Webデザイン実習 II		
		●デザイン基礎	●Webデザイン演習■		ゲーム・Webデザイン実習 III	ゲーム・Webデザイン実習 IV■		
			プログラミング基礎 I■	プログラミング基礎 II■		ゲーム・Webデザイン実習 V■		
専門分野における幅広い知識による企画力		●映像基礎		●映像演習■	映像実習 I	映像実習 II		
					映像実習 III			
		プロジェクト演習		総合プロジェクト演習	総合プロジェクト実習 I	総合プロジェクト実習 II		
専門分野における幅広い知識による企画力	西洋美術史■			芸術文化論■				
				現代芸術論			知的財産権■	
	デザイン史■							
		色彩学						
			構成論					
	アニメーション概論	映像概論■	シナリオ論	コピーライティング	コンテンツ表現 I	コンテンツ表現 II		
							デザイン芸術特論	映像特論
			映像音響概論■	情報デザイン概論■	メディア・アート論■			
			認知科学概論					
		グラフィックデザイン概論■		タイポグラフィ				
					ゲームプロデュース論			
			コミュニケーション論	会話分析				
				情報ネットワーク概論■	情報システム基礎■			
			情報と職業■	情報社会とモラル■				
		博物館概論■	博物館資料論■	文化財学概論■	博物館経営論■	博物館資料保存論■		
		博物館教育論■	博物館学特論■		博物館展示論■	博物館実習■		
		博物館情報・メディア論■						

◎必修科目
 選択科目
 ●選択必修科目
 ■教員免許（情報）教科に関する科目
 ■博物館学芸員資格に関する科目の履修

デザイン芸術学科 専攻科目（29生） カリキュラム・ツリー

教育目標： デザイン、美術、工芸の諸領域を幅広く融合した総合的な芸術教育研究を行うことを目的とする。
 個別の領域の専門家であるだけでなく、総合的な見地から社会、産業、生活のニーズに対して
 新たな価値を創出できる人材の養成を目標とする。

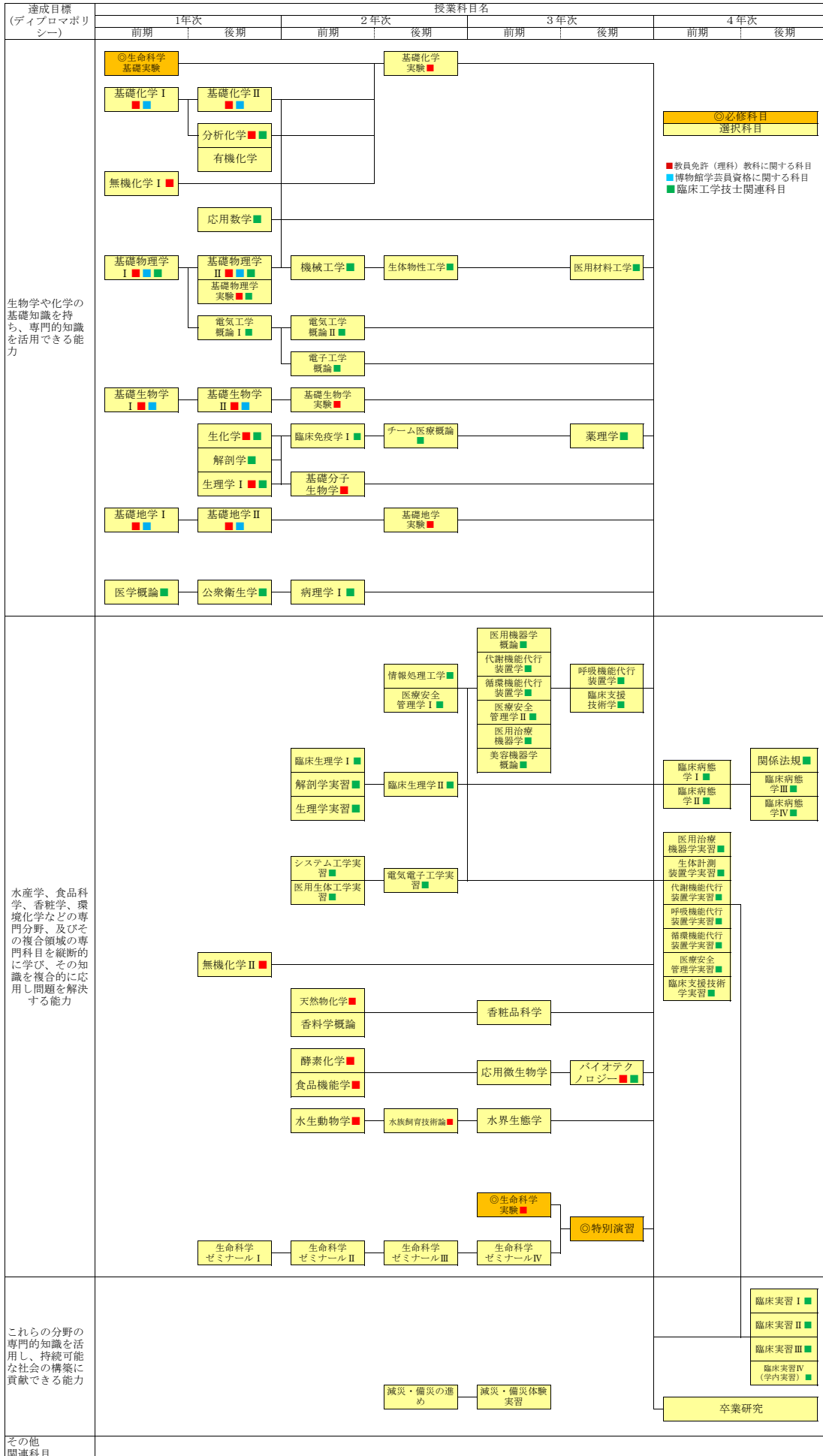
達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
・専門分野における幅広い知識を得て創作や企画に活かす能力 ・専門分野における幅広い創作に関する技術力 ・専門分野における独自の表現力 ・地域や社会に関する諸課題について、知性と感性を活かして問題解決する能力 ・他者と協調・協働でき、自らの意見を的確に表明できるコミュニケーション能力	美学・芸術学概論 ■	現代芸術論 ■		芸術文化論 ■ ■				
	◎西洋美術史 ■ ■ ■	◎日本美術史 ■ ■ ■	日本近代美術史 ■ ■					
			東洋美術史 ■ ■					
	デザイン史 ■ ■	工芸史 ■ ■	ファッション文化史 ■ ■					
	構成論 ■ ■	色彩学 ■ ■						
	◎デザイン基礎 I ■ ■	◎デザイン基礎 II ■ ■						
	◎絵画基礎 I ■ ■	◎絵画基礎 II ■ ■						
	◎彫刻基礎 ■ ■	◎工芸基礎 ■ ■						
	図学 ■ ■							
	製図演習 I ■ ■	製図演習 II ■ ■	デザイン芸術技法演習 ■ ■	デザイン芸術表現演習 ■ ■				
	コンピュータ演習 ■ ■							
	デザイン概論 ■ ■	デザイン理論 ■ ■						
		工芸材料論 ■ ■						
		デザイン演習 I ■ ■	デザイン演習 III ■ ■					
		デザイン演習 II ■ ■	デザイン演習 IV ■ ■					
		美術工芸演習 I ■ ■	美術工芸演習 III ■ ■					
		美術工芸演習 II ■ ■	美術工芸演習 IV ■ ■					
			美術工芸演習 V ■ ■					
				デザイン実習 I ■ ■	デザイン実習 II ■ ■			
				美術工芸実習 I ■ ■	美術工芸実習 II ■ ■			
			サステナブルデザイン論 ■ ■	プロジェクトマネジメント論 ■ ■	知的財産権 ■ ■			
		総合プロジェクト演習 I ■ ■	総合プロジェクト演習 II ■ ■	総合プロジェクト実習 I ■ ■	総合プロジェクト実習 II ■ ■	デザイン芸術特論 ■ ■		
						総合プロジェクト実習 III ■ ■		
							◎卒業研究 ■ ■	
その他関連科目			メディア・アート論 ■ ■	映像表現史 ■ ■	認知科学概論 ■ ■	コピーライティング ■ ■		
			絵画基礎 III ■ ■	タイポグラフィ ■ ■				
			博物館概論 ■ ■	博物館学特論 ■ ■	文化財学概論 ■ ■	博物館経営論 ■ ■	博物館資料保存論 ■ ■	
			博物館教育論 ■ ■	博物館資料論 ■ ■	博物館展示論 ■ ■		博物館実習 ■ ■	
			博物館情報・メディア論 ■ ■					

◎必修科目
 選択科目

■教員免許（美術）教科に関する科目
 ■博物館学芸員資格に関する科目の履修

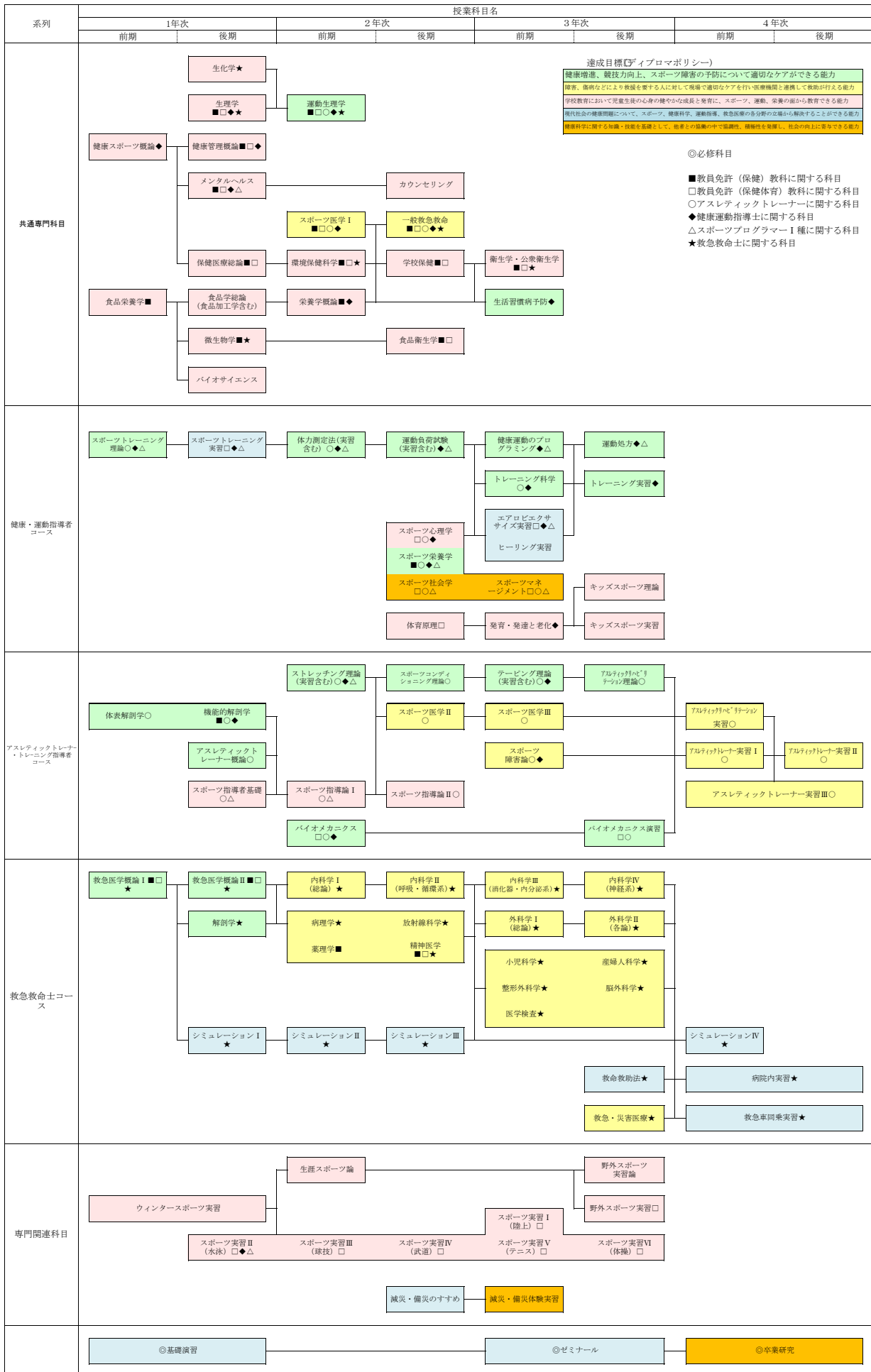
生命科学科 専攻科目 (29生) カリキュラム・ツリー

教育目標： 生命化学、食品科学、環境科学、水産科学および医用工学の各分野で生命を支える生命科学を教育し、持続的な社会形成に貢献できる人材の養成を目標とする。



健康科学科 専攻科目 (29生) カリキュラム・ツリー

教育目標：保健科学や運動科学の面から人間の健康をとらえることができ、人間を取り巻く環境との関わりの中で21世紀の健康生活に貢献できる人材の養成を目標とする。



動物生命科学科 専攻科目 (29生) カリキュラム・ツリー

教育目標： 急速に変化しつつある現代社会に新たな視野をもって対応し、動物と人間の関わりの領域を中心に、より良い社会環境、生活環境の構築のために働くことのできる人材の養成を目標とする。

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
生命の尊厳や人権尊重をふまえた高い倫理観を身につけ、動物や飼い主に寄り添うことができる能力	生命倫理・動物福祉		人と動物の関係学				◎必修科目 選択科目	
動物の健康と生育環境について科学的根拠に基づき判断することができる能力	生物統計学		動物薬理学 I		動物薬理学 II			
	動物形態機能学 I ■		動物形態機能学 II ■		動物形態機能学実習			
	動物形態機能学 III ■		動物繁殖学 ■		動物病理学			
			動物栄養学		動物臨床検査学			
			動物感染症学 I ■		動物感染症学 II ■			
					動物臨床検査学実習			
					愛玩動物学		動物生活環境学	
					比較動物学			
					動物行動学		動物生活環境学	
					実験動物学 ■		動物生活環境学	
					動物医療コミュニケーション		動物生活環境学	
動物看護実践に必要な専門的なコミュニケーション能力							動物生活環境学	
動物看護実践の場において、適切なアセスメントに基づいて看護を創造し実践することができる能力	動物看護技術学		動物看護学概論		動物内科看護学			
	動物看護技術学実習		動物看護学実習		動物内科看護学実習			
	適正飼養指導論		動物看護学実習		動物臨床看護学実習			
	動物受護・適正飼養実習		動物看護学実習		動物外科看護学		動物外科看護学実習	
					動物臨床看護学各論 I		動物臨床看護学各論 II	
					動物臨床看護学各論 II		動物臨床看護学各論 III	
					動物臨床看護学各論 I		動物臨床看護学各論 III	
協働するチーム内でリーダーシップを発揮し、その発展に貢献できる能力							動物看護総合実習	
							実験動物学演習	
社会の変化に適切に対応できる動物看護を創造し実践するために必要な専門的知識を身につけ研鑽しつづける能力	動物看護関連法規		特別講義				ペット関連産業概論	
	動物受護・適正飼養関連法規						卒業研究	
その他関連科目	バイオサイエンス ■		動物進化論 I ■					
	基礎化学 I ■		基礎生物学実験 ■		滅菌・備災のすすめ		滅菌・備災体験実習	
	基礎化学 II ■		基礎分子生物学 ■					
	基礎物理学 I ■		天然物化学 ■		基礎化学実験 ■			
	基礎物理学 II ■				基礎地学実験 ■			
	基礎生物学 I ■							
	基礎生物学 II ■							
	基礎地学 I ■							
	基礎地学 II ■							
	基礎物理学実験 ■							
	無機化学 I ■							
	無機化学 II ■							

生命医科学科 専攻科目 (29生) カリキュラム・ツリー

教育目標： 癌診断のスペシャリストである細胞検査士や臨床検査技師、さらには疾患治療基盤の確立を志向する医療人の養成を目標とする。

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名								
	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
<p>見て感じてイメージできる アートの能力と、観察し検証・考察できるサイエンス的能力</p> <p>臨床検査の知識・技術で正確に物質の濃度や生体情報を検出できる能力</p> <p>社会人、医療人として社会、医療現場に適応できるコミュニケーション能力</p> <p>目の前の現象を理解し、次への行動ができる能力</p> <p>人に優しく丁寧に話せる能力</p>	◎医学概論				◎生命社会科学概論		◎必修科目 選択科目		
			◎基礎生理検査学	◎循環機能検査学	◎呼吸・神経機能検査学	◎公衆衛生学			
		◎基礎解剖学	◎解剖学	◎解剖学実習	◎組織学	◎超音波・画像検査学	◎臨床生理学実習		
		◎生化学 I	◎生化学 II		◎生化学実習	◎病理学 I	◎病理学 II		
				◎臨床化学 I	◎臨床化学 II	◎臨床化学実習	◎病理学実習		
					◎試薬と機器				
			◎検査機器論	◎一般検査学	◎臨床検査総論実習			◎臨床検査学特論 I	◎臨床検査学特論 II
				◎医動物学				臨床検査学演習 I	臨床検査学演習 II
		◎微生物学	◎臨床微生物学 I	◎臨床微生物学 II	◎微生物学実習				
			◎臨床血液学 I	◎臨床血液学 II	◎臨床血液学実習			卒業研修	
			◎臨床免疫学	◎輸血・移植検査学	◎臨床免疫学実習				
					◎輸血・移植検査学実習				
					◎医学総論 (栄養学・薬理学)	◎認知症検査			
		◎生理学		◎生理学実習		◎臨床病理学			
		◎臨床検査室概論			◎医用工学概論	◎医用工学実習			
					◎臨床検体管理学				
					◎検査管理総論 (関係法規含む)				
					◎医療安全管理学				
					◎医療安全管理学実習				
					◎遺伝子検査学				
					◎遺伝子検査学実習				
					◎臨床検査総合実習				
					◎臨床実習				
			◎細胞学総論 I	◎細胞学総論 II	臨床細胞学演習 I		細胞診断学特論 I ~ VI	細胞診断学特論 I ~ VI	
					臨床細胞学演習 II		細胞診断学特論 II	細胞診断学特論 I ~ VI	
							細胞診断学特論 III	細胞診断学特論 I ~ VI	

その他 関連科目
基礎化学 I ■ 基礎化学 II ■ 基礎生物学実験 ■ 基礎化学実験 ■ 基礎物理学 I ■ 基礎物理学 II ■ 基礎地学実験 ■ 基礎生物学 I ■ 基礎生物学 II ■ 基礎地学 I ■ 基礎地学 II ■ 無機化学 I ■ 無機化学 II ■ 基礎物理学実験 ■ 情報科学実習 ■ 基礎分子生物学 ■ 分析化学 ■ 有機化学 ■ 減災・備災のすすめ ■ 減災・備災体験実習 ■ 生物学入門 ■